

名前：

今、インターネットができる人ならだれでも自分が知りたい情報をインターネットで探して見ることが出来ます。私も時々朝に見れながら、た記事やニュースをインターネットで見ます。インターネットのニュースは早いし、様々な新聞社や雑誌社の記事を全部まとめてあるので、便利です。最近、コンピューターを使わない人はほとんどいないと思います。特に、会社員や大学生はほとんどコンピューターができるし、日のゆコンピューターを使って仕事をしたり勉強をしたりします。そうするとわざわざ時間を割いて新聞や雑誌を読むよりもインターネットでニュースを見ることがさらに便利かも知れません。

しかし、インターネットが便利だから新聞や雑誌がなくなっても大丈夫でしょうか。

私はそうでもないと思います。

まず、新聞や雑誌は一つの会社の名を付けて出版されているものです。それで、新聞や雑誌は自分の新聞社や雑誌社の意見を反映し

ています。しかし、インターネットのニュースはその記事を載せたサイトでまとめられた記事であるので、だれが、どの会社が、どのような目的で書いたか分かりません。これは商業的や政教的として利用されるかも知れないということです。

そして、インターネットのニュースは全部が事実だとは思えません。新聞や雑誌はちゃんと入社試験を合格した記者が記事を書くので信じられます。しかし、インターネットのニュースは正式の記者ではない人が書く場合もあるし、ただうわさを集めて記事を書く場合もあります。細かくまで調査して書く記事は少ないと思います。

早くて便利で見られるインターネットのニュースもいいです。しかし、新聞や雑誌がなくなると信用できるかできないか分別できないインターネットのニュースだけが残り、たう我々の知る権利も一緒になくなるかも知れません。インターネットのニュースと新聞や雑誌

1800字

題：

KR012jp

名前：

誌をともに読むほうが一番いい方法だと思います。